

サッカー部 守山北高校に惜敗 新チームへの期待高まる

▶声を出して気合いを入れる部員たち



▲味方に向けてボールを放つゴールキーパー



▲ボールをキープする。



▲ドリブルで相手を振り切ろうとする。



▶相手からボールを奪おうとする。

この試合についてキャプテンの田島順一郎君(3-2)は「みんな最後まで声を出し、楽しくプレーができたので良かった」と、副キャプテンの太田敦君(3-3)は「相手は強かったが、諦めずに試合をすることができた。だが緊張しているのも通りのプレーができなかったのが残念だ。最初から自分たちのサッカーをしたかった」とそれぞれ感想を寄せた。またサッカー部顧問の中野太史先生はこの試合の結果について「前半は良い勝負になりそうな雰囲気だったが、相手に点を取られることから攻撃をすることが難

しくなってしまった。しかし選手全員が頑張ってプレーしていた。差はつけられたものの粘り強いサッカーができたので悪い試合ではなかったと思う」と振り返られた。そして「相手の動きを見てどのように攻撃するかを考えてほしい。守備については1対1の時に勝てるような強さを身につけてもらいたい。点を生み出せるようなプレーを練習してほしいと思う」と先を見据えられた。

サッカー部はこの試合で3年生が引退し、1・2年生が中心のチームになる。1・2年生に向けて田島君は「相手に何点も決められ、苦しい状況に陥ってしまうかもしれない。でも諦めずに頑張るって戦ってほしい」と、太田君は「毎日しっかりと練習を積み重ねてほしい。そしてこれからの大会で今回以上の結果を残してほしい」とそれぞれメッセージを送った。そして中野先生は「今までの先輩たちが築き上げてきたことを受け継いで力強く戦ってほしい。秋の大会ではリーグ戦で上位リーグに残れるように、今回の春季総体での課題を克服して欲しい」と語気を強められた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号

5月18日に野洲高校で2019年度春季総合体育大会サッカー競技の部が行われた。本校サッカー部は守山北高校と対戦し、0-4で敗北した。